



宇部市制施行 100 周年記念ロゴマークガイドライン

宇部市

宇部市制施行 100 周年記念ロゴマーク

「緑と花と彫刻のまち」

「共生社会の実現に向けて、多様性を認めて育むSDGs 未来都市」

ロゴマークの形と色で、宇部のこれまでの歴史と、未来に向けたまちづくりを表現

本市は、令和3年（2021年）に市制施行100周年を迎えます。この記念すべき年を市民と共に盛り上げていくためのシンボルとなる、ロゴマークとキャッチフレーズを決定しました。当ロゴマークについては、「市制100周年記念市民プロジェクト」の応募企画として、一般社団法人山口県デザイン協会 YDA 宇部が募集し、大賞に選ばれた作品を元にしたものです。ロゴマークとキャッチフレーズは、100周年までの期間を通じて、ポスターやチラシ、関連グッズ等、さまざまな事業に広く活用し、機運の醸成と多くの市民の参加につなげていきます。

【作 者】 菅野 薫（すがの かおる）氏 （山形県在住）

【補作者】 一般社団法人山口県デザイン協会 YDA 宇部代表理事 吉井 純起（よしい すみき）氏

【ロゴマークの説明】

- 形 100 の部分は宇部市を代表する野外彫刻で表す。
飛び立つ飛行機は「未来に向けて暮らしやすく、力強く伸びる宇部」と、市民とともに新たなステージへと向かう宇部を表現。
- 色 多色の配置で、「共生社会の実現に向けて、多様性を認めて育むSDGs 未来都市」を表現。
赤：市花サルビア、ガーデンシティとしてまちを彩るバラ、石炭の炎、戦災や公害からまちをよみがえらせた人々の情熱
青：公害を克服して目指し、そして取り戻した青い空
緑：緑あふれるまち、公害を克服し取り組んだ緑化運動
橙：本市が目指す未来へのまちづくり像（SDGs「9.産業と技術革新の基盤をつくろう」「11.住み続けられるまちづくり」）

宇部市制施行 100 周年記念キャッチフレーズ

「100 周年 希望あふれる未来へ」

【キャッチフレーズの説明】

全市をあげて市民と一緒に 100 周年を祝い、今日の宇部を築いた先人達への感謝と郷土の魅力を再認識するとともに、100 周年とその先に向けて、希望あふれる本市の未来像を次の世代へとつなげる場とする。

ロゴマークの使用

- 原則、キャッチフレーズを要素に含む基本形を使用してください。
- キャッチフレーズを強調させたい場合は、キャッチフレーズなし版を使用し、任意でキャッチフレーズを併記させる事も可能です。
- キャッチフレーズは、ロゴと併記する場合、「100 周年」を省略し「希望あふれる未来へ」と表記してください。
- キャッチフレーズのみを表記する場合、「100 周年 希望あふれる未来へ」と表記してください。

基本形



キャッチフレーズなし



[キャッチフレーズを併記した例]

(縦ならび)



(横ならび)



[キャッチフレーズのみ]

100周年 希望あふれる未来へ

ロゴマークの色

- ロゴマークは多色配置によりグラデーションになっている部分もあるため、原則として別添のロゴデータを使ってください。
- モノクロは原則としてグレースケール版を使用してください。ただし背景濃度にあわせた視認性を確保するため、必要に応じて二階調版、あるいは白抜き版を使用ください。

カラー版



モノクロ（グレースケール）版



モノクロ（二階調）版



白抜き版



禁止事項

- 以下のような使用を禁止します。

押しつぶしたり歪めたりしない



要素の比率や位置を変えない



要素を削除しない



他の要素と組み合わせない



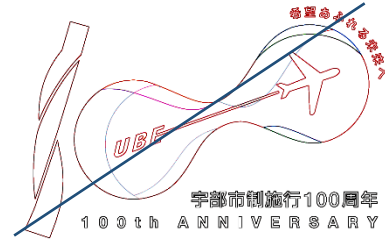
陰付けをしない



活字書体を変更しない



アウトライン化しない



傾けない



色を変更しない



余白

- ロゴマークのイメージを保つため、点線の枠内に文字や他のデザイン要素が入ることを禁止します。
- キャッチフレーズを併記する場合も、点線の枠外に配置してください。（キャッチフレーズの場所は、枠外であれば任意で配置できます）
- 背景に写真、イラスト、カラーを入れる場合は、視認性を損なわないよう注意してください。
（背景の影響により視認性を損なう場合は、以下点線枠と同等以上の白地の中にロゴマークを配置して使用ください。）



最小サイズ

- ロゴマークは下記より小さいサイズでの使用を禁止します。
- キャッチフレーズを併記する場合、キャッチフレーズの大きさは任意です。可読性が確保できる大きさとしてください。
- ロゴマークの拡大・縮小においては、縦横の比率変更を禁止します。

